放射線治療品質管理学特論演習

生島仁史‧教授/保健学専攻,八木浩史‧,西原貞光‧助教/保健学専攻,阪間稔‧准教授/保健学専攻,富永正英‧助教/保健学専攻

【授業目的】臨床の状態にシミュレートした場で、放射線計測学特論で得た知識を駆使し、その内容をさらに深く把握することを目的とする.

【授業概要】放射線治療の現場で高エネルギー放射線を精度良く制御できるよう になること.

【授業計画】

- 1. 放射線計測の基礎 (八木)
- 2. 放射線スペクトルの計測(阪間)
- 3. 深部線量の定義その1(八木)
- 4. 深部線量の定義その 2(八木)
- 5. 深部線量計算法その1(八木)
- 6. 深部線量計算法その 2(八木)
- 7. 出力吸収線量測定法 (八木)
- 8. 種々の照射法における等線量曲線に対する影響(生島)
- 9. モニタユニット (MU) の計算 (八木)
- 10. 電子線東吸収線量の測定と評価 (八木)
- 11. 治療計画その 1(生島)
- 12. 治療計画その 2(生島)
- 13. 放射線治療計画装置(西原)
- 14. リスクマネージメントその 1(西原)
- 15. リスクマネージメントその 2(西原)

【成績評価】授業態度、レポートにより評価する.

【教科書】「診断画像検査法」放射線治療科学概論

【授業コンテンツ】http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217031